

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】令和2年11月26日(2020.11.26)

【公開番号】特開2020-166899(P2020-166899A)
【公開日】令和2年10月8日(2020.10.8)
【年通号数】公開・登録公報2020-041
【出願番号】特願2020-109625(P2020-109625)
【国際特許分類】

G 0 6 F 21/60 (2013.01)

H 0 4 L 9/10 (2006.01)

G 0 6 Q 20/40 (2012.01)

【F I】

G 0 6 F 21/60 3 2 0

H 0 4 L 9/00 6 2 1 A

G 0 6 Q 20/40 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月14日(2020.10.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1つまたは複数のペイロードを高速に復号するためのコンピュータが実行する方法であって、

読み取り専用データベースおよび読み書きデータベースに動作可能に接続されたメッセージキューイングプロトコルを提供すること、を備え、

前記メッセージキューイングプロトコルは、

少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、前記読み取り専用データベースから複数のイベント通知を受信することであって、前記複数のイベント通知の各々は、1つまたは複数の受信されたペイロードの認証に関する1つまたは複数の通知を含む、前記受信すること、

前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、前記複数のイベント通知の各々からの前記1つまたは複数の受信されたペイロードの認証に関する1つまたは複数の通知に対応するデータに基づいて、前記1つまたは複数の受信されたペイロードを認証すること、

前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、前記読み取り専用データベースから受信された前記複数のイベント通知をキューイングすること、

前記読み書きデータベースが前記複数のイベント通知を受け取るように構成されていると判定した場合、前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、前記読み書きデータベースに前記複数のイベント通知を送信すること、を実行するように構成されている、コンピュータが実行する方法。

【請求項2】

前記読み取り専用データベースは、少なくとも1つのスレーブ読み取り専用データベースに動作可能に接続されたマスター読み取り専用データベースである、請求項1に記載のコンピュータが実行する方法。

【請求項3】

前記少なくとも1つのスレーブ読み取り専用データベースに動作可能に接続されたフロントエンドサーバーを提供すること、をさらに備え、

前記フロントエンドサーバーは、前記1つまたは複数の受信されたペイロードを受信するように構成され、

前記1つまたは複数の受信されたペイロードを認証することは、前記1つまたは複数の受信されたペイロードに含まれるデータを、前記複数のイベント通知の各々からの前記1つまたは複数の受信されたペイロードの認証に関する前記1つまたは複数の通知に対応するデータと比較すること、を含む、請求項2に記載のコンピュータが実行する方法。

【請求項4】

ハードウェアセキュリティモジュールを提供すること、をさらに備え、

前記ハードウェアセキュリティモジュールは、前記フロントエンドサーバーに動作可能に接続され、前記1つまたは複数の受信されたペイロードの暗号化部分を復号する、請求項3に記載のコンピュータが実行する方法。

【請求項5】

前記ハードウェアセキュリティモジュールは、ハードウェアセキュリティモジュールサーバーを介して前記フロントエンドサーバーに動作可能に接続されている、請求項4に記載のコンピュータが実行する方法。

【請求項6】

前記メッセージキューイングプロトコルは、前記読み書きデータベースが複数のイベント通知を受け取るように構成されていないと判定した場合、前記複数のイベント通知を格納するようにさらに構成されている、請求項1に記載のコンピュータが実行する方法。

【請求項7】

前記読み書きデータベースが複数のイベント通知を受け取るように構成されていると判定した場合、格納された前記複数のイベント通知を前記読み書きデータベースに送信すること、をさらに備える請求項6に記載のコンピュータが実行する方法。

【請求項8】

前記読み書きデータベースは、P2PEマネージャである、請求項1に記載のコンピュータが実行する方法。

【請求項9】

前記メッセージキューイングプロトコルは、前記読み書きデータベースによって受信される複数のメッセージのバックアップを提供するようにさらに構成されている、請求項1に記載のコンピュータが実行する方法。

【請求項10】

前記メッセージキューイングプロトコルは、前記読み書きデータベースがオフラインである場合に書き込み要求をキューイングするようにさらに構成されている、請求項1に記載のコンピュータが実行する方法。

【請求項11】

1つまたは複数のペイロードを高速に復号するシステムであって、

少なくとも1つのコンピューティングデバイスと、

読み取り専用データベースおよび読み書きデータベースに動作可能に接続されたメッセージキューイングプロトコルであって、前記メッセージキューイングプロトコルは、前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスによって実行されるように構成され、前記メッセージキューイングプロトコルは、

前記読み取り専用データベースから複数のイベント通知を受信することであって、前記複数のイベント通知の各々は、1つまたは複数の受信されたペイロードの認証に関する1つまたは複数の通知を含む、前記受信すること、

前記複数のイベント通知の各々からの前記1つまたは複数の受信されたペイロードの認証に関する1つまたは複数の通知に対応するデータに基づいて、前記1つまたは複数の受信されたペイロードを認証すること、

前記読み取り専用データベースから受信された前記複数のイベント通知をキューイング

すること、

前記読み書きデータベースが前記複数のイベント通知を受け取るように構成されていると判定した場合、前記読み書きデータベースに前記複数のイベント通知を送信すること、を実行するように構成されている、システム。

【請求項 1 2】

前記メッセージキューイングプロトコルは、前記読み書きデータベースによって受信される複数のメッセージのバックアップを提供するようにさらに構成されている、請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 1 3】

前記メッセージキューイングプロトコルは、前記読み書きデータベースがオフラインである場合に書き込み要求をキューイングするようにさらに構成されている、請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 1 4】

前記読み取り専用データベースは、少なくとも 1 つのスレーブ読み取り専用データベースに動作可能に接続されたマスター読み取り専用データベースである、請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 1 5】

前記メッセージキューイングプロトコルは、前記読み書きデータベースが複数のイベント通知を受け取るように構成されていないと判断した場合、前記複数のイベント通知を格納するようにさらに構成されている、請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 1 6】

1 つまたは複数のペイロードを高速に復号するプログラムを備える非一時的なコンピュータ可読媒体であって、前記プログラムは、少なくとも 1 つのコンピューティングデバイスによって実行されると、前記少なくとも 1 つのコンピューティングデバイスに、

読み取り専用データベースおよび読み書きデータベースに動作可能に接続されたメッセージキューイングプロトコルを提供させ、

前記メッセージキューイングプロトコルは、

前記読み取り専用データベースから複数のイベント通知を受信することであって、前記複数のイベント通知の各々は、1 つまたは複数の受信されたペイロードの認証に関する 1 つまたは複数の通知を含む、前記受信すること、

前記複数のイベント通知の各々からの前記 1 つまたは複数の受信されたペイロードの認証に関する 1 つまたは複数の通知に対応するデータに基づいて、前記 1 つまたは複数の受信されたペイロードを認証すること、

前記読み取り専用データベースから受信された前記複数のイベント通知をキューイングすること、

前記読み書きデータベースが前記複数のイベント通知を受け取るように構成されていると判定した場合、前記読み書きデータベースに前記複数のイベント通知を送信すること、を実行するように構成されている、非一時的なコンピュータ可読媒体。

【請求項 1 7】

前記メッセージキューイングプロトコルは、前記読み書きデータベースによって受信される複数のメッセージのバックアップを提供するようにさらに構成されている、請求項 1 6 に記載の非一時的なコンピュータ可読媒体。

【請求項 1 8】

前記メッセージキューイングプロトコルは、前記読み書きデータベースがオフラインである場合に書き込み要求をキューイングするようにさらに構成されている、請求項 1 6 に記載の非一時的なコンピュータ可読媒体。

【請求項 1 9】

前記読み取り専用データベースは、少なくとも 1 つのスレーブ読み取り専用データベースに動作可能に接続されたマスター読み取り専用データベースである、請求項 1 6 に記載の非一時的なコンピュータ可読媒体。

【請求項 20】

前記メッセージキューイングプロトコルは、前記読み書きデータベースが複数のイベント通知を受け取るように構成されていないと判断した場合、前記複数のイベント通知を格納するようにさらに構成されている、請求項 16 に記載の非一時的なコンピュータ可読媒体。